

平成 29 年度 学校評価報告書(目標設定)

視点	4年間の目標 (平成 28 年度策定)	1年間の目標 (本年度の目標)	取組の内容	
			具体的な方策	評価の観点
1 教育課程 学習指導	<p>①工業高校として育成すべき人物像を見据え、基礎学力の充実を図るとともに、企業・大学等のニーズにも対応できるような教育課程の編成に努める。</p> <p>②言語活動の活性化、協働的な学びを展開し、確かな学力を育成する。</p> <p>③資格取得の機会拡大を図り、資格取得率を向上させる。</p>	<p>①産業構造の変化、科学技術の進歩等の情勢の変化に対応できる実践力のある工業人を育成するための具体的な方法を構築し、教育課程の再編成を行う。また自分の大切さとともに他の大切さを認めることができるような人権教育にも力を入れる。</p> <p>③生徒にとって将来に繋がる資格を精選し、個に応じたサポートに努める。</p>	<p>①・個に応じた指導および補習等により、工業人として必要な学力の定着と向上を図る。 ・企業や大学等のニーズにも対応可能な教育課程の編成について完成させる。 ・日々の実習を中心とした体験活動を通じて、他者との共感能力や想像力、人間関係調整力を育むことができるような指導を充実させる。 ・今年度も引き続き人権研修会やユニバーサルデザインへの取組を行い、生徒の人権意識を高める。</p> <p>③学級担任と連携し、生徒の進路選択を見据えた資格取得指導を充実させる。</p>	<p>①・工業高校として育成すべき人物像」について共通認識を持ち、基礎学力の向上について具体的に課題を解決するための取り組みが行えたか。 ・具体的な教育課程を編成することができたか。 ・人権教育の研修会やユニバーサルデザインへの取組を通して、生徒の人権意識の向上について成果が上がったか。(アンケート調査)</p> <p>③個々の生徒にとって必要な資格・検定・講習の内容について正確な情報を提供するとともに、結果として合格率の向上が図れたか。</p>
2 生徒指導・ 支援	<p>①基本的な生活習慣を定着させ、生徒が自ら社会のルールやマナーの意味を考える指導の充実を図る。</p> <p>②生徒主体の生徒会活動・行事の運営を推進する。</p> <p>③潜在的ニーズにも対応可能な教育相談体制の確立を図る。</p>	<p>①社会性の基礎となる生活習慣を生徒に定着させ、自ら率先して良識ある行動ができるような人材育成に努める。また、交通事故の無い学校を目指す。</p> <p>③支援会議、SC、SSW の活用を活性化させる。</p>	<p>①生徒指導方針を明確にして、全職員で統一した指導が実践できるような環境整備に努める。また、生徒が交通事故に遭わないよう交通安全活動をさらに強化する。</p> <p>③ケース会議の開催、SC、SSW の活用を検討し、積極的に働きかける。</p>	<p>①・落ち着いた生活環境の整備を進めることにより、生徒指導対象生徒が減少したか。 ・交通安全指導の徹底により、交通事故件数が減少したか。</p> <p>③・潜在的ニーズの洗い出し、問題に対する事前の対応ができたか。 ・ケース会議は予防的な観点で開催できたか。 ・SC、SSW 利用率は昨年度以上であったか。</p>
3 進路指導・ 支援	<p>①社会的・職業的自立のための力を育成する計画的なキャリア教育を実践する。</p> <p>②全員参加によるインターンシップのさらなる充実を図るとともに、進路選択に幅広く活用できる進路データベースを構築する。</p>	<p>①礎力診断テストを活用したキャリア教育の推進と、キャリア教育実践プログラムに基づいた進路行事の実施と精選を行う。また、昨年度作成した、企業別進路実績データを活用した進路支援の実践と充実を図る。</p> <p>②就業体験活動を通して、働くことの意味を理解させるとともに、他者とのコミュニケーションが円滑に行えるような人材育成を支図る。</p>	<p>①・テスト結果の分析の精度を上げるとともに、生徒へのフィードバックを支援する。 ・キャリア教育実践プログラムと進路行事の目標の合致を精査する。 ・進路実績データを活用した進路支援を実施するとともに、他のテストの連結を図る。</p> <p>②インターンシップ事前指導を徹底し、社会人としてのルールを学習させ、進路選択の動機づけとなるような充実した体験ができるよう支援する。</p>	<p>①・事前指導を徹底することで事前学習への取組が向上し、マークミスが減少したか。また、テスト結果をその後の指導に有効活用できたか。 ・進路行事の精選を行えたか。 ・他のテストの結果と進路実績データの連結を図り、そのデータを活用した有意義な指導ができたか。</p> <p>②・学校全体の取り組みとして、円滑な運営ができたか。 ・生徒感想文等から、生徒にとって有意義な体験となったか。また、事業所アンケートの結果から、協力事業所の反応はどうであったか。</p>
4 地域等との 協働	<p>保護者や地域との連携を推進することにより生徒のコミュニケーション能力の向上を図り、「生きる力」と豊かな社会性を育成する。</p>	<p>①地域密着型・学校の特色と課題に応じたコミュニティースクールを設置し、有効な取組を行う。</p> <p>②ホームページの充実と迅速な掲載を通して、教育活動の発信を活性化させる。</p>	<p>①現状と課題の整理を行い、学校目標を共有することで学校運営協議会が有効に機能するよう委員の方たちと協議を行う。</p> <p>②ホームページ掲載の仕組みを整備し、迅速に発信することができたか。</p>	<p>①学校運営協議会を3回以上実施し、十分な協議が行えたか。</p> <p>②ホームページの更新の頻度・閲覧カウンターが増加があったか。</p>
5 学校管理 学校運営	<p>学校評価システムにおけるPDCAサイクルの「見える化」を実践し、安全・安心な教育環境の整備と事故防止に努める。</p>	<p>防災に関する意識の向上と安全で安心できる教育環境を確立する。</p>	<p>防災体制を見直し、地域・保護者と連携した防災訓練等を通して、生徒の防災に関する意識の向上を図る。</p>	<p>生徒の防災に関する意識の向上が図れたか。(アンケート調査等)</p>